

## 主題：キリストを経験し、享受し、表現する

メッセージ 59

啓示録において (8)

わたしたちの牧者

聖書：啓 7:17. 詩第 23 篇. ヨハネ 21:15-17. ヘブル 13:20-21. I ペテロ 2:25. 5:1-4

### I. 「御座の中央にいる小羊が彼らを牧養し、命の水の泉に導いてくださり」——啓7:17.

エレミヤ2:13. イザヤ12:2-6:

- A. 詩篇第 22 篇では、キリストは贖い主、再生する方でした。詩篇第 23 篇では、彼は今や牧者です。詩篇第 24 篇では、彼は王となり、召会、彼のからだを通して、すなわち、彼が贖い、再生し、今日牧養している人々を通して、全地を再び得ます。
- B. キリストは、天の務めにおいて人々を牧養しておられます。わたしたちは、彼と協力して、人々を牧養する必要があります。これは、使徒の務めとキリストの天の務めとの協力です——ヨハネ 21:15-17. ヘブル 13:20. I ペテロ 5:1-4.
- C. すべての諸召会が教えを受けて、キリストのすばらしい牧養にあずかるなら、主の回復には大きな復興があるようになります。わたしたちが、キリストの天の牧養の務めにおいて彼と協力することは、彼のからだを建造し、花嫁の用意を整えます。それは、彼が再来して、次の時代において王となるためです。
- D. 人々を牧養することは、彼らをはぐくみ、養うことです。これは全新約聖書によって例証されています：
  - 1. キリストは人の子として来て、わたしたちを贖って、罪から離れさせました (I テモテ 1:15) ——はぐくみ。
  - 2. キリストは神の子として来て、神聖な命をわたしたちの中へと豊かに分け与えました (ヨハネ 10:10 後半) ——養い。

### II. すべてを含むキリストは、わたしたちの内側の霊なる牧者であって、わたしたちの内なる存在を顧みます——11節. ヘブル13:20-21. I ペテロ5:1-4. 2:25:

### III. 内住の霊なるキリストは、「わたしの牧者」です。彼のすべてを含む、優しい顧みの下で、「わたしには欠けるものがありません」——II コリント3:17前半. II テモテ4:22. I コリント6:17. ピリピ1:19. 詩23:1:

### IV. 霊なるキリストは、有機的な牧養において、「わたしを緑の牧場に伏させ」ます——2節前半:

- A. 「緑」は、命の豊富を表徴します。緑の牧場は、わたしたちの養いであるキリストご自身です——ヨハネ 10:9.
- B. キリストは、肉体と成ること、死、復活を通して、わたしたちの緑の牧場、養う場所となることができます——。
- C. I テモテ第 1 章 4 節の「エコノミー」のギリシャ語の語根は、ヨハネ第 10 章 9 節の「牧場」と同じ語源です。それは、羊の群れに牧場を分配するという意味を含ん

でいます。このことは、詩篇第 23 篇が神のエコノミーについての詩篇であることを啓示しています。神のエコノミーとは、彼の家庭の行政であって、ご自身を緑の牧場として彼の民の中へと分与し、彼らを建造して、エホバの家とならせることです。これは、手順を経て究極的に完成された三一の神と、彼の贖われ、再生され、造り変えられ、栄光化された三部分から成る人との、神性と人性の合併です—— 6 節。

**V. 霊なるキリストは、有機的な牧養において、「憩いの水辺にわたしを伴われます」——2節後半：**

- A. 「憩いの水」は、その霊、すなわち、キリストの復活の後に、究極的に完成された霊を表徴します——ヨハネ 7:37-39。
- B. 緑の牧場と憩いの水は、命を与える霊である、復活した、霊なるキリストです—— I コリント 15:45 後半. ヨハネ 14:16-18。

**VI. 霊なるキリストは、有機的な牧養において、「わたしの魂を回復し」ます——詩 23:3 前半：**

- A. わたしたちの魂が回復されるとは、わたしたちが復興されるという意味です。回復することは、新しくすることと造り変えをも含んでいます——ローマ 12:2. II コリント 3:18。
- B. わたしたちの主は、わたしたちの魂の牧者また監督者として、わたしたちの内なる存在の益を顧みることによって、またわたしたちの真のパーソンの状態を監督することによって、わたしたちを牧養されます—— I ペテロ 2:25。
  - 1. キリストは、優しい、すべてを含む方法でわたしたちを顧みます。このような牧養は内側の、内在的な、有機的な慰めです——ヨハネ 14:16, 26. 参照、II コリント 1:3-4。
  - 2. わたしたちの魂はとても複雑であるので、わたしたちはキリストを必要とします。彼は、わたしたちの霊の中におられる命を与える霊であり、わたしたちの魂においてわたしたちを牧養し、思い、感情、意志、またわたしたちの問題、必要、傷を顧みます——参照、イザヤ 61:1。

**VII. 霊なるキリストは、有機的な牧養において、「彼の御名のために、わたしを義の途に導かれます」——詩23:3後半：**

- A. キリストは、わたしたちを義の途に導きます（霊にしたがって歩かせ、義の要求を満たすようにします——ローマ 8:4）。
- B. 「義の途」とは、わたしたちの歩みを指しています—— 4 節. ガラテヤ 5:16, 25。
- C. 「彼の御名のために」とは、彼のパーソン、すなわち、霊なるキリストである、彼の生けるパーソンのためであることを意味しています——マタイ 28:19. 18:20. コロサイ 3:17。
- D. キリストは、わたしたちの魂を回復します。それは、わたしたちが彼の道を進み、義の途を歩くためです：
  - 1. わたしたちの思い、感情、意志は、正常で、均衡が取れている必要があります。そうでなければ、わたしたちは義であることができません。

2. 霊なるキリストの有機的な牧養の下で、わたしたちは均衡が取られ、修正され、調整されます。
  3. わたしたちは行なうすべてのことにおいて、キリストの牧養の下にいて、キリストをわたしたちの途、また義とする必要があります。
- E. 義とは、神の義と厳格な要求にしたがって、神の御前で、人、事物、事柄に対して正しくあることです——マタイ 5:20。
- F. 義は、神の王国の事柄です。こういうわけで、義は、神の行政のために神から来て、神の統治と支配と関係があります——6:33. 詩 89:14 前半. 97:2 後半. イザヤ 32:1。
- G. 義は、命を与える霊としてわたしたちの中に住んでいるキリストを生かし出し、真に表現することです——啓 19:8. II コリント 3:9。

**VIII. 霊なるキリストの有機的な牧養の下で、「たとえ、死の影の谷を歩いても、わたしは災いを恐れませんが、あなたがわたしと共におられるからです。あなたの棒とあなたの竿、それらがわたしを慰めます」——詩23:4 :**

- A. 霊なるキリストがわたしたちと共におられるということが意味しているのは、わたしたちが彼の目に見えない臨在を享受するということです。それは特別で、個人的で、親密なものです——マタイ 28:20 後半. II テモテ 4:22 前半。
- B. わたしたちが死の影の谷を歩くとき、霊なるキリストの臨在は、わたしたちにとって慰め、救い、支える力です。
- C. わたしたちは谷にいるとき、ただそこにとどまり、主の中で安息すべきです。わたしたちが主の中で安息することは、谷を短くし、影を減少させ、死を取り除きます。
- D. 主の棒は主の権威の象徴であり、それはわたしたちを保護するためです。
  1. わたしたちは主の権威の下にいて、彼によってしるしづけられた道を歩みます。
  2. あらゆる消極的なもの、すなわち、死、暗やみ、恐れ、災いは、彼の統治、制御、権威の下にあります。
- E. 主の竿は、導きのため、教え導くため、訓練のため、指示するため、支えのためです。
- F. 死の影の谷において、わたしたちは霊なるキリストの有機的な牧養の下で、神が復活の神であることを経験し、格別な復活に到達します——ヨハネ 11:25. II コリント 1:8-9. ピリピ 3:10-11。

**IX. 霊なるキリストの有機的な牧養の下で、彼は「わたしの前にわたしの敵の前で、宴席を設け、わたしの頭に油を塗ってください。わたしの杯は満ちあふれています」——詩23:5 :**

- A. 主はわたしたちの前にわたしたちの敵の前で、宴席を設けます——5 節前半. 参照、サムエル下 4:4. 9:7, 13. 創 14:18-20. ネヘミヤ 4:17。
- B. 主はわたしたちの頭に油を塗り（祭りの時の宴席で行なわれるように）、わたしたちの杯（祝福の杯）は満ちあふれています——詩 23:5 後半. ヘブル 1:9. I コリント 10:16 前半, 21。
- C. 詩篇第 23 篇 5 節において、わたしたちは三一の神、すなわち宴席としての御子、塗り油としてのその霊、祝福の源としての御父を持ちます。

X. 霊なるキリストの有機的な牧養の下で、「わたしの命の日の限り、必ず良きものと慈愛がわたしを追いかけて来ます。わたしは日々いつまでもエホバの家に住みます」—6節：

- A. 「良きもの」はキリストの恵みを指し、「慈愛」は御父の愛を指し、「追いかけて来」ることはその霊の交わりを指します。こういうわけで、御子の恵み、御父の愛、その霊の交わりがわたしたちと共にあります——Ⅱコリント 13:14。
- B. わたしたちの命の日の限り（現在の時代、来たるべき時代、永遠において）、手順を経て究極的に完成された三一の神に対する享受は、わたしたちを神の家（キリスト、召会、新エルサレム——ヨハネ 1:14. 2:21. I テモテ 3:15-16. エペソ 2:22. 啓 21:2-3, 22）における神に対する享受に導き入れます。
- C. わたしたちは、わたしたちの命の日の限り、神の家の中に住むことを尋ね求める必要があります——詩 27:4-8：
  - 1. 神の麗しさ（愛すべきこと、楽しさ、喜ばしさ）を見つめる—— 4, 8 節. Ⅱコリント 3:18。
  - 2. 神を尋ね求め、わたしたちの日常生活のあらゆるものについて、神に調べていただく——詩 27:4 後半. 参照、ヨシュア 9:14。
  - 3. 神の避難所にかくまわれ、神の天幕の隠れ場に隠れる——詩 27:5. 31:20。
  - 4. 神によって高く上げられて、わたしたちの頭が高く持ち上げられる—— 27:5 後半-6 前半。
  - 5. 神に喜びの叫びの犠牲をささげて、神に向かって歌い、詩を歌い、神に栄光を得させる—— 6 節後半. ヘブル 13:15. ピリピ 2:11。

XI. 詩篇第23篇は、詩篇第22篇と詩篇第24篇を結び付けています。キリストのすばらしい牧養と、わたしたちがこの牧養に入り込むことによって（バイタルグループの内在的な意義）、キリストのからだは、彼の贖われ再生された人たちをもって建造され、花嫁は整えられます。そして彼は再来し、次の時代における彼の王国の実現において王となります。